

国際大会引率代表コーチ選考に関する基準

1. 目的

この基準は、海外で開催される国際大会の主催者が認定する帯同代表コーチである国際大会引率代表コーチ（以下「引率代表コーチ」）の選考方法について定めるもので、公平かつ透明性のある選考を行い、併せて、派遣先でわが国を代表して帯同をするコーチとしての自覚と責任とを促すことを目的とする。ただし、日本テニス協会（以下「本協会」）が派遣するコーチの選考には適用しない。

2. 申請資格

引率代表コーチ申請は、①S級コーチ，②公認上級コーチ，③公認上級教師，④公認コーチ，⑤公認教師のいずれかの資格を持つ者が行うことができる。

3. 優先順位

申請者が複数の場合、引率代表コーチは以下の順位により決定する。なお、各項の順位内で複数名の申請があった場合は、上記の「申請資格」に示された①～⑤の資格の順とし、同資格の場合、帯同する選手のITFランキング順により決定する。

- 1) ナショナルコーチ
- 2) 本協会役員・委員
- 3) ナショナルジュニア選手のコーチ
- 4) 本協会強化本部役員・委員より推薦があったもの

4. 申請方法

本戦初日の14日前までに「国際大会引率代表コーチ申請書」をJTAから入手し、提出することとする。

5. 決定方法と通知

本協会事務局は、申請が複数となった場合、第2及び第3項に基づき、引率代表コーチを選考して大会主催者に通知すると同時に、全ての申請者に合否を連絡する。

6. 義務と責任

引率代表コーチに選考された者は、指定された誓約書に署名し本協会に提出する。
引率代表コーチに選考された者は、当該大会終了後14日以内に、「国際大会引率代表コーチ遠征報告書」をJTA宛てに提出する。

7. 本基準の運用に関する事項は、普及本部ジュニア委員会の所管とする。

8. 本基準の改廃は、常務理事会の決議を経て行う。

制定 平成22年11月25日
改定 平成29年7月19日

年 月 日

公益財団法人 日本テニス協会会長

山西 健一郎 殿

国際大会引率代表コーチ申請書

私 _____ (コーチ名) は、下記大会の引率代表コーチとして大会本部が用意するホスピタリティー等優遇措置を受けたいので、JTA が定めた「国際大会引率代表コーチ選考に関する基準」に従って、下記の通り誓約書を添えてここに申請します。

大会期日 _____

大会開催国 _____

大会名 _____

引率選手 _____

誓 約 書

私は、上記大会の引率代表コーチとして認定された場合、以下のことを遵守し、その義務と責任を果たすことをここに誓約いたします。

1. キャプテンミーティングに必ず出席し日本人コーチ・選手にその内容を伝えます。
2. 会場地での日本人コーチや選手を把握し、可能な限りフォローします。
3. あらゆる分野の有益な情報を収集し、報告書提出等にて国内還元に努めます。
4. 天災、事件、事故等の重大なトラブルが発生した場合、私は大会本部と連携し問題解決にあたり、この顛末を J T A に報告します。
5. 引率代表コーチに相応しい、服装並びに振る舞いに務めます。
6. 大会終了後 14 日以内にオフィシャルコーチ遠征報告書を提出します。

署名： _____

コーチ氏名英語表記： _____

保有資格： _____

ITF Coach Registration number： _____

連絡先： _____

メールアドレス： _____

携帯アドレス： _____

宿泊先名称： _____

以上

※本誓約書は、本戦初日の14日前までにJTAに送付すること。

参考書式

年 月 日

公益財団法人 日本テニス協会
会長 山西 健一郎 殿

報告者

国際大会引率代表コーチ遠征報告書

この度、下記大会に日本の国際大会引率代表コーチとして遠征したので、以下の通り報告します。

記

大会名

期 日

会場名 所在地（国名、市名）

1. 大会運営面に関する報告（練習コート、OP、ホスピタリティーの内容等）
2. 大会の質に関する報告
（戦略、戦術、試合内容等各種の情報、海外国内の有望な選手等）
3. 報告すべき伝達事項又は感想
（次年度のツアーコーチ、国内のコーチ等に伝達したい現地情報）
4. 報告すべきトラブルの内容と処置
5. その他（自由記載）

※注意：この書面は参考書式です。

送付先：メール junior@jta-tennis.or.jp

F A X 03-6812-9275